

## 11. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告致します.

●2020年度の第13回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「微分幾何と可積分系 (Differential Geometry and Integrable Systems)」, 組織委員長を大仁田義裕氏 (大阪市立大学) として, 2022年3月に大阪市立大学において開催される予定です. (新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました.) 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください.

[http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/~ohnita/2020/MSJ-SI2020\\_e.html](http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/~ohnita/2020/MSJ-SI2020_e.html)

●2021年度の第14回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「New Aspects of Teichmüller Theory」, 組織委員長を大鹿健一氏 (学習院大学) として, 2022年7月に東京大学において開催される予定です. (新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました.)

●2022年度の第15回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「応用特異点論の深化と展開 (Deepening and Evolution of Applied Singularity Theory)」, 組織委員長を西村尚史氏 (横浜国立大学) として, 2022年11月頃に開催される予定です.

●2023年度の第16回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「楕円可積分系, 表現論, 超幾何関数 (Elliptic Integrable Systems, Representation Theory and Hypergeometric Functions)」, 組織委員長を今野均氏 (東京海洋大学) として開催される予定です.

### ●2024年度 MSJ-SI テーマ公募について

2024年度 MSJ-SI についてテーマ公募を行っております. 締め切りは **2022年5月31日** です.

MSJ-SI は, 以下の特徴を持ちます.

- ・数学会から500万円の助成金が提供されます.

- ・東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国と台湾から限られた人数の大学院生・若手研究者が派遣されます.
- ・専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行って頂きます.

応募される方は, 締切までに, 研究集会のテーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を学術委員長までお送りください. また, 事前の問い合わせも歓迎いたします.

送付先: 日本数学会学術委員会委員長  
塩谷 隆

電子メール: [shioya\(at\)math.tohoku.ac.jp](mailto:shioya(at)math.tohoku.ac.jp)

郵便: 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉  
6番3号  
東北大学大学院理学研究科 数学専攻

詳細については, 前号に掲載の公募要領を参照して下さい.

(学術委員長 塩谷隆 記)